街路樹再生計画の今後の方向性について

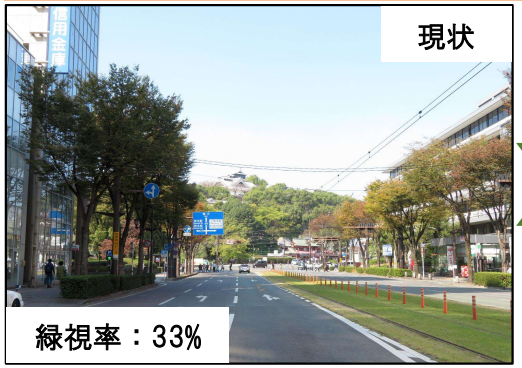
資料B-8

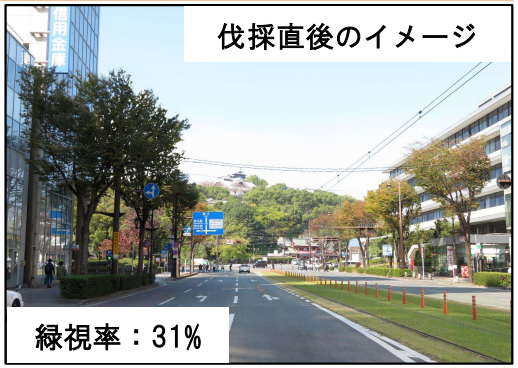
1．再開した街路樹再生計画策定委員会での議論

	第４回委員会(令和3年(2021年)8月30日開催)
議題	・計画の中断に至る経緯、計画の現状の課題
主な意見	・どんな課題に基づいてピンクのテープを巻いたのか明確にする ・2～30年後、伐採や剪定で困ることが無いようにして欲しい ・今後は次世代を担う若者に参画してもらう

	第５回委員会(令和3年(2021年)11月19日開催)
議題	・倒木の危険性がある街路樹の伐採、重点路線の路線整備計画
主な意見	・補植の基準や樹木の高さの基準が必要 ・ある程度連続して伐採し、違う樹種を植えることも必要 ・倒木の危険性の回避のためには、植栽基盤を改良することも必要

■ 委員会では、現計画における課題や伐採後のイメージを共有し、倒木の危険性が極めて高い街路樹については伐採することを決定した





2．今後の方向性（案）

➢ 様々な課題の解決のために、街路樹の伐採を含めた対策は必要であり、対策の必要性と理由を計画の内容と共に市民に丁寧に説明していく

✓ 重点区間を設定し、植栽基盤の改良を検討
✓ 補植や樹木の高さの基準を追加し、樹種は、重点区間は変更を検討
✓ 緑視率については、各区間ごとの視点場で算出する
✓ 実施期間(現：2020～2024) ⇒　安全安心に関わるものは早期に対応し、それ以外は、市民と合意形成を図りつつ実施

3．市民への丁寧な説明の手法とプロセス

■ ワークショップ・パブコメ・シンポジウムを通じて、計画の内容を広く丁寧に説明し、理解を得ると共に、街路樹への関心を高める
■ 様々なアイデアを引き出し、市民参画で計画を策定する

ワークショップ
- 計画の内容を丁寧に説明し、理解を得ると共に、街路樹への関心を高める
- 持続可能な維持管理や公民連携のアイデアを引き出す

第７回委員会
- ワークショップでの議論や意見を踏まえて策定した素案について、議論し決定

パブコメ シンポジウム
- 策定した素案を広く市民へ丁寧に説明し、理解を得ると共に、意見を聴取する

第８回委員会
- パブコメ・シンポジウムでの議論や意見を踏まえて策定した案について、議論し決定

4．今後のスケジュール（案）

➢ 令和4年10月の公表を目標に、以下のスケジュールで進めていく予定

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
●第6回委員会（書面）	緑化フェア (3/19 ～ 5/22) ●市民WS 1回目 ●議会報告	●市民WS 2回目	●市民WS 3回目	●第7回委員会 ●素案策定 ●議会報告	パブコメ	●シンポジウム	●第8回委員会 ●案策定 ●議会報告	●公表